

平成30年1月30日

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	雲南保健所	氏名	尾添 健太
派遣先 団体名	大田市立中央公民館		

<はじめに>

大田市には7つの公民館と27のまちづくりセンターが設置されています。公民館の役割は、社会教育の場を提供すること(人づくり)であり、まちづくりセンターの役割は、文字通りまちづくり(地域づくり)の拠点です。

大田市の公民館事業においては、生涯学習支援や防災・防犯対策など、公民館事業のイメージが強いものから、人材育成の観点から大田の歴史・文化・環境問題などに関する取り組みまで幅広い活動を行っておられます。

今回の研修では、地域で人を育てることや公民館の果たしている役割を実感することを目的として、実際の公民館活動やイベントに参加させていただきました。

① 研修の日時

日時	場所	業務概要
平成29年7月10日(月)	大田市立中央公民館 大田小学校	「大田わんぱく遊び隊」見学
平成29年7月30日(日)	三瓶町(水辺の広場ゾーン)	「親子自然たんけん隊」 見学、お手伝い
平成29年8月5日(土)	大田市立中央公民館	「大田JOいんっ♪」運営 (お化け屋敷準備)
平成29年8月6日(日)	大田市立中央公民館	「大田JOいんっ♪」運営 (お化け屋敷当日)
平成29年9月28日(木)	大田市立第一中学校	思春期・赤ちゃん交流学習 事業見学、参加

② 研修の内容

◆平成29年7月10日(月)

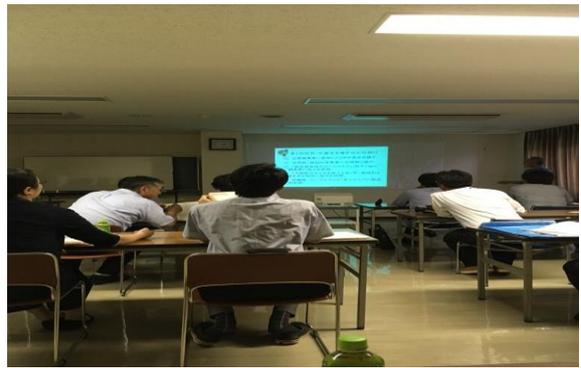
「大田わんぱく遊び隊」見学

大田市立中央公民館では「地域で子どもを育む」をテーマに「大田わんぱく遊び隊」を組織しており、主に小学生の放課後支援を行っています。具体的にはグラウンドや体育館で地域の人と一緒に遊ぶことです。「大田わんぱく遊び隊」の特徴は「地域の中・高生も参加」している点です。彼らは小学生のころから「大田わんぱく遊び隊」に参加していて、小学校卒業後も後輩たちとの繋がりを持って積極的に活動に携わっています。地域の「遊びの達人」と呼ばれるボランティアの方を中心に独自のゲームが行われ、私も小学生に混じって遊びに参加しました。

また、この日は同公民館が行っている放課後子ども支援事業の視察のために岡山県真庭市の職員の方々が来られており、県外からも注目度の高い取り組みをされているのだと感じました。



(大田小学校での遊びの様子)



(真庭市職員視察風景)

◆平成29年7月30日(日)

「親子自然たんけん隊」見学・お手伝い

この日は公民館事業のうち、「環境学習」をテーマに『親子自然たんけん隊』と称し、親子で川遊びや流しそうめんを行いました。ここでも地域の「遊びの達人」の指導のもと、三瓶の川にいる生き物を探したりなど身近に存在する環境問題を体験させていただきました。

当日は大田第一中学校の中学生ボランティア(小学生のときに公民館事業によく参加していたOB、OG)も参加されていて、地域の子供たちやその保護者が積極的に参加されていました。



(三瓶町での川遊び)



(流しそうめん)

◆平成29年8月5日(土)～8月6日(日)

「大田JOいんつ♪」によるお化け屋敷準備・運営お手伝い

「大田JOいんつ♪」とは、地域の中高生(今回のイベントでは大田高校と仁摩高校)で構成される地域活動グループであり、1年を通して様々な活動をされています。この日はお化け屋敷の準備と当日の運営お手伝いを行いました。

中高生たちが自分たちでお化け屋敷のテーマを設定し、リーダーを決め主体的に会場設営と当日運営をしていて、非常に頼もしかったです。



(「大田JOいんつ♪」集合写真)



(お化け屋敷準備風景)

◆平成29年9月28日(木)

思春期・赤ちゃん交流学習事業見学、参加

この事業では、大田市立第一中学校の生徒たちを対象に、赤ちゃんの抱っこやおんぶの体験を通して赤ちゃんとの関わり方やマナー学習することを目的に開催されています。

参加者は、大田一中2年生が約60名、地域ボランティアが12名、大田市役所の保健師が2名、講師(助産師)が1名、公民館から私も含め3名参加しました。

事前に会場準備をし、参加される赤ちゃん(概ね生後3か月)と保護者が来場され、保健師・助産師から諸注意の説明がありました。その後中学生が入場し、事前に振り分けられた12のグループへ移動し、赤ちゃん交流会が開始されました。

参加した中学生からは「かわいらしかった」、「意外と抱っこが難しい」など感想が飛び交い、今ある命が家庭、学校、地域によって支えられてできていることを実感する機会となっています。

感想として、公民館といえば生涯学習、生涯学習といえば年配の方向け、というイメージをしがちでしたが、これから次世代を担う子どもたちへの社会教育を行うことも公民館の重要な役割であり、こういった場の提供をする重要性を実感することができました。

(↓赤ちゃん交流会の様子)



③ 研修の感想

今回の5日間の研修で参加させていただいた公民館活動はほんの一部に過ぎず、幅広い分野の活動をされていることに驚きました。特に人材育成の視点から、地域の中高生を対象とした行事が多く開催されていることは、私自身これまで公民館との関わりが少なかったこともあり、とても印象的でした。

近年では若年層の自治会への参加率が低いなど地域のつながりが薄れていることが問題となっていますが、防災や防犯、見守りという点からも地域とのつながりを日頃から持つことはとても大切なことだと思います。特に今回の研修では、子どもの頃から公民館と関わりを持つ機会を多く設定することで「地域で子どもを育てる」という意識を地域全体で醸成していることが分かりました。

また、地域で子どもを育てることは、その子どもたちに地元（大田市）への愛着を感じさせることであり、ひいては県内で就職してもらい、という雇用・定住の問題にも関係すると研修を通じて思いました。

私は現在入庁3年目であり、今後は様々な部局・分野に携わることになると思いますが、今回のように自身の業務とは異なる他分野での研修は、普段とは違った視点で物事を考えるよい機会であり、大変勉強になりました。

最後に、館長の岩根様をはじめ公民館職員の皆さまにはご多忙のところ研修を受け入れてくださり、本当にありがとうございました。

④ その他特記事項

- ・主に土日の事業となります。
- ・事前に大田市役所のホームページ等でどのような公民館活動をされているのか調べておくと、実際の活動がスムーズに行えると思います。

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)報告書は、平成30年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。